

2022 年 7 月 吉日

(公社) 日本鑄造工学会 会員各位

(公社) 日本鑄造工学会東海支部

支部長 前田 安郭

企画委員長 白川 博一

2022 年度「東海支部 鑄造技術講演会」のご案内

拝啓 大暑の候、会員各位におかれましてはご清祥にお過ごしのことと拝察いたします。

東海支部では本部「第3期中長期ビジョン」に掲げられている「日本での“モノづくり”、“人づくり”に貢献し、鑄造業界を元気にする」という思いを受け、鑄造業界が取り組んでいるテーマを「**3つのシンカ（深化・新化・進化）**」+「**親化**」による仲間づくりの推進 という「**支部活動方針**」（次頁）を作成、現在行っている鑄造講座や部会活動（研究部会、YFE 懇話会）、若手人材育成などの活動を体系的に表現、会員がニーズに合わせて参加できる環境づくりを進めています。

今回、企画委員会では、日本の鑄造の**付加価値向上**させる資源循環システムの企画として「**廃材活用**」をテーマに、**技術講演会**を開催する運びとなりました。また、本企画の最後には「**廃材活用アイデア**」をテーマに参加者との意見交換も企画しています。

本講演会は全国の会員を対象に開催いたします。会員の皆様、ご多忙の中とは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルスの感染リスク回避の観点から**ハイブリット形式**での開催としています。本講演会は事前申込制ですので、早めのお申し込みをお願いします。

（2022 年 10 月 3 日追記）

※このたび、参加申込み期間を 10 月 17 日(月)まで延長します。

まだ申込みをお済みでない方はこの機会にぜひご参加ください。

また、講演会終了後に「**会員交流会**」を開催することになりましたので、併せてご案内申し上げます。

申込みは下記【**申込方法**】よりお願いします。

敬具

記

開催日時： **2022 年 10 月 28 日(金) 13:00～17:00**

開催方式： **ハイブリット形式**（リアル or リモートのどちらかを選択、お申し込みください）

開催場所： **シャインズ 5 F プラザ A,B,C**

愛知県刈谷市東陽町 2 丁目 18 番地 TEL:0566-24-3348

参加応募人数： **<リアル>（会場） 24 名**（先着順、定員に達し次第、リモートを案内）

<リモート>（zoom ウェビナー） 106 名（先着順）

参加料(消費税込)：

- ・(公社) 日本鑄造工学会 **個人会員，維持会員 5,000 円／人**
- ・(公社) 日本鑄造工学会 **学生会員 無料**
- ・非会員 **22,000 円／人**

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により会議形式は変更になる可能性があります。

会員交流会について:

鑄造技術講演会に引き続き、同日夕刻に会員交流会の開催します。

詳細の案内は、別紙「「会員交流会」案内」をご確認ください。

申込方法: 東海支部ホームページ(<https://jfs-tokai.jp/>)より「講演会情報」にアクセスいただき、
本講座の会告ページより、10/3(月)までにお申し込みください。

※申込み〆切以降のキャンセルは返金致しませんので、予めご了承ください。

※他支部からの参加も歓迎致します。

<現地参加申込みの方へ>

- ・会告ページに記載の申込みフォームよりお申し込みください。

なお、申し込みは先着順とさせていただきます、定員(24名)に達した場合は、
Web参加に変更となりますので、あらかじめご了承ください。

<Web参加申込みの方へ>

- ・会告ページに記載の「<リモート参加>登録フォームはこちら」のリンクよりお申し込みください。
- ・参加料の入金を確認後、開催約3週間前にzoomウェビナー情報をe-mailにてご連絡致します。

【Web参加時の注意事項】

- ・講習会参加のために、インターネット環境、メールアドレスが必要です。
通信費は参加者負担となります。
- ・当日は開始15分前から入室ができます。

送金方法: 銀行振込 三菱UFJ銀行金山支店 普通預金口座 支店番号 288
口座番号 1262063

(公社)日本鑄造工学会東海支部 シヤ)ニホンチュウゾウコウガッカイ トウカイシブ

※領収書は、銀行の振込受領書を持ってかえさせていただきます。

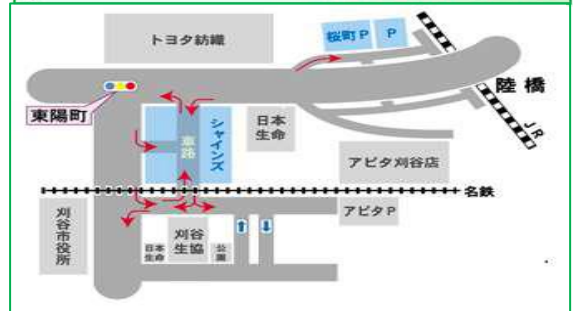
振込手数料は、ご負担願います。)

【会場案内図】 刈谷シャインズ <http://www.shines-shokki.jp/>



＜駐車場について＞

・お車で来られる方は、桜町Pに駐車下さい



【開催プログラム】

(1) 支部長挨拶 (13:05~13:15)

前田 安郭

本部と連携して東海支部では「日本での“モノづくり”を支える人材の育成」をサポートする活動を進めています。その取組みを会員の皆さんに紹介します。

(公社) 日本鋳造工学会 東海支部活動ビジョン (案)



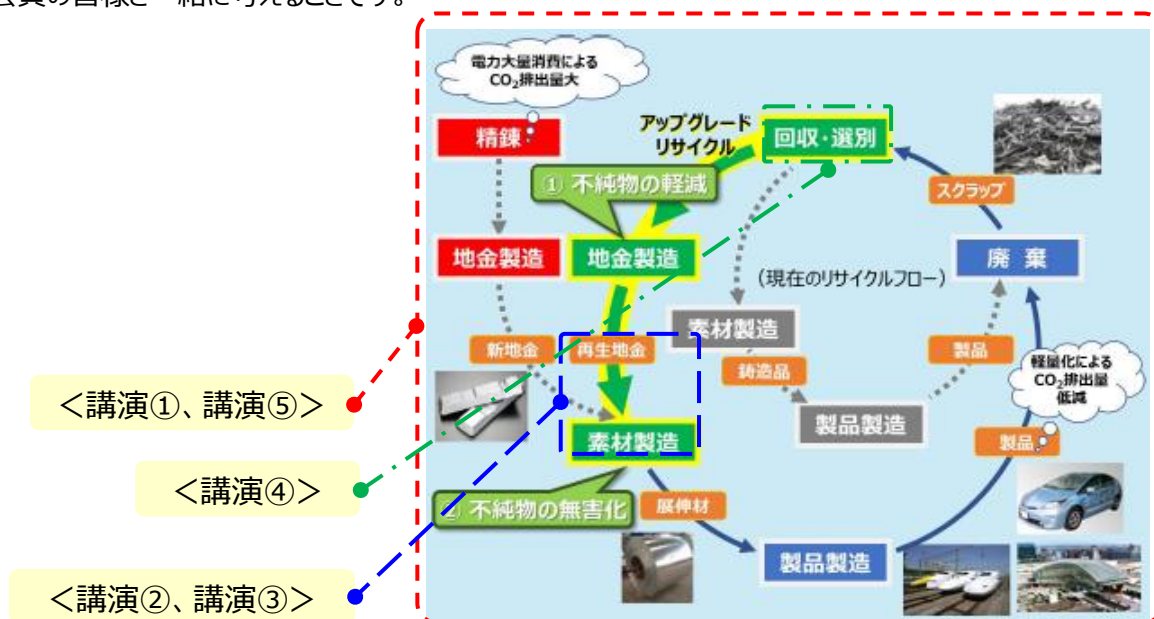
’21年度 支部活動方針「3つのシンカ」

+ 『親化』による仲間づくりの推進

(2) 今回の技術講演会 講演テーマ ご紹介 (13:20~13:25)

支部企画委員 小林 宏

今回の技術講演会_視点は「廃材活用」です。講演テーマの位置付けを資源循環システム図で紹介します。狙いは資源の有効活用であり、「日本の強みを更に伸ばす」、「技術革新へ繋ぐ」を会員の皆様と一緒に考えることです。



出所:アルミニウム素材高度資源循環システム構築事業(経済産業省)

(3) 鑄造技術講演 & ディスカッション (13:30～17:00)

講演① (13:30～14:15)

「アルミニウムスクラップの流通について」

講師：(株)大紀アルミニウム工業所 **内田 浩介氏**

[講演概要]

- ・日本におけるアルミニウムスクラップの流通フローや選別・加工工程の現状と課題、また脱炭素社会や水平リサイクリングに向けた今後の課題を説明する。

講演② (14:20～14:55)

「理論計算に基づく AI 鑄造合金の不純物元素の活用と製造プロセス革新」

講師：名古屋大学 **高田 尚記氏**

[講演概要]

- ・アルミ鑄物製造プロセスにおける環境負荷とコストの大幅低減を実現する熱処理の簡略化・省略化を見据えた「制御冷却プロセス」の原理を紹介する。その実現に向けた取り組みにおいて、理論計算に基づいた材料強度における不純物元素の有効活用の可能性とその検証実験を報告する。

以上の内容に基づき、新たな製造プロセスに向けたアルミ鑄物の材料設計の展望を述べる。

講演③ (15:00～15:35)

「サステナブル熱電発電システム」

講師：(株)安永 **吉永 利行氏**

[講演概要]

- ・カーボンニュートラル実現に向けた重要課題である鑄造工場での熱マネジメント。その一端である熱電発電システムの現状と普及に向けた課題や取り組みを、当社製品の特長を交えながら紹介する。

講演④ (15:40～16:15)

「マンガン含有鋼板選別装置によるスクラップの高速選別システム」

講師：トヨキン(株) **野村 圭佑氏**

(株)アーステクニカ **高浪 裕智氏**

[講演概要]

- ・クルマの軽量化に伴い、薄くても強度のある高張力鋼板の使用が増加した。高張力鋼板はマンガン成分が 1.0%～2.0%と非常に高く、プレススクラップに混入すると全体のマンガン値が大幅に上昇し、鑄造原料としての活用が困難であった。当技術でプレススクラップを高マンガン材と低マンガン材に選別することで、マンガン値 0.3%の安定した鑄造原料が確保可能となり、自動車産業の資源循環に貢献できた。

ディスカッション⑤（16:20～17:00）

「LCA 視点での廃材活用アイデア討論会」

講師：トヨタ自動車 古川 雄一氏

〔概要〕

- ・素形材の各種工法で作られた商品や工程内返り材、不良品、バリ、切粉等の多くは鋳造が受け皿的役割となり我国の材料循環を支えている。今後の LCA 動向を先読みし、今から製造業、商社、研究機関が取り組むべき項目をディスカッションする。